



### 呼吸器内科の仲間たち

左から、藤本栄 医師(常勤)、島田裕基 研修医  
川崎樹里 医師(常勤)、田口悠瑚 研修医

#### 川崎医師からのメッセージ

常に知識をアップデートしていきたいと考えています。最近はおんデマンドの学会も増え、勉強しやすい環境になってきました。情報を得るばかりでなく学会発表や論文にも積極的に取り組んでいます。咳、痰、呼吸困難など気になる症状がありましたら、気軽にご相談ください。

常に知識をアップデートしていきたいと考えています。



### Q 呼吸器系の病気になりやすいタイプや生活習慣は？

A 気をつけたい生活習慣は、やはりタバコですね。また、基本的に高齢者に多くみられますので、タバコを吸う習慣のある高齢の方はリスクが高くなります。また、タバコを男性と女性で同じ本数を吸った場合、女性の方が呼吸器系の病気になりやすいとされていますので、女性でタバコを吸っている方は特にリスクが高いといえます。

### Q 肺がんは、がん死亡率の1位ですが、気をつけることは？

A 肺がんは早期発見が難しく、症状が出にくい病気です。また、早期に転移しやすい傾向もあります。咳などの症状が出た時にはかなり進行しているケースが多いので、健康診断で無症状のうちに発見することがとても重要です。

### Q 呼吸器内科医として気をつけていることは？

A わかりやすく、その方に合わせた説明を心がけています。患者さんによって「大丈夫ですよ」と安心していただけるような声かけを大切にすることもあれば、医学的な細かい説明に重きを置くこともあります。

### Q みなさんへのメッセージをどうぞ

A 男女を問わず40歳を過ぎたら、年に1回の胸部レントゲン検査が推奨されています。自営業や専業主婦の方、退職された方も、市の検診などを利用して、ぜひ検査を受けてください。

